

資料8

令和元年度自殺対策に関する出前講座実施結果について

実施機関	回数		受講者総数 (人)	研修効果（アンケート結果） ※ 回収分のみ合計 (人)	
神奈川県	小学校	7回	577	非常に参考になった	325
	中学校	6回		やや参考になった	137
	中・高等学校	1回		ほとんど参考にならなかった	4
	高等学校	2回		全く参考にならなかった	0
	高等特別支援学校	1回		無回答	17
	教育委員会	2回			
	計	19回			
横浜市	小学校	1回	1,202	非常に参考になった	460
	中学校	1回		やや参考になった	95
	高等学校	1回		ほとんど参考にならなかった	1
	高等特別支援学校	1回		全く参考にならなかった	0
	専門学校	2回		無回答	4
	スクールカウンセラー 連絡協議会	1回			
	神奈川県学校警察 連絡協議会	1回			
	計	8回			
川崎市	中学校	2回	1,092	非常に参考になった	0
	高等学校	1回		やや参考になった	12
	定時制高等学校	2回		ほとんど参考にならなかった	2
	計	5回		全く参考にならなかった	2
				無回答	1
相模原市	小学校	1回	84	非常に参考になった	20
	中学校	1回		やや参考になった	11
	計	2回		ほとんど参考にならなかった	0
合計	34回	2,955人	全く参考にならなかった	0	
			無回答	0	

(前年比)

(+15回)

(+2,322人 ※主な増は生徒向け実施分だがアンケート不可)

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)												
						講座の効果(主催者評価) ※様式2	回収数(回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する知識 ※様式3 Q6	研修受講後の知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての学習意欲 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想(抜粋) ※様式3 Q10	
神奈川県	6月10日(月) 15:20～16:50 座間市立東中学校	教職員	31名	自殺の現状と家庭生活の問題	株式会社つるがみねグループ 観ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳こ(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員28名(90%)	20代 8名 30代 6名 40代 6名 50代 11名 60代以上 1名 無回答	男性 16名 女性 12名 無回答 0名	教職員 13名 児童生徒 2名 指導員 3名 学年主任 1名 養護教諭 0名 副校長 0名 校長 0名 教頭 0名 その他 1名 無回答	ある 19名 ない 2回 無回答 3回以上分らない 9名 0名	1回 10名 2回 5名 3回以上分らない 4名 無回答 0名	十分にある 10名 少しある 4名 やや不足 4名 全く不足 0名 無回答	非常に増えた 0名 少し増えた 16名 変わった 8名 変わったなかった 4名 無回答	非常に参考になった やや参考になった 17名 ほとんど参考になった 10名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかった 1名 無回答	とても必要である 23名 やや必要である 4名 ほとんど必要ない 0名 必要ない 0名 全く必要ない 1名 無回答	21名 6名 0名 0名 1名	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちのいつも違うサインに気付くことが大事だと思います。しっかりと気付けるよう自配りをしたいです。 声かけ続けること、一人で抱え込まず、チームで、生徒を見守っていくこと。 自殺に至るまで「希死念慮」という1度抱いたら消えることのないものがあったり、一見よくないこととしてくすくす、なおしたいと思ってしまう「ひきこり」や「不登校」といった行動が自殺を抑制していることもある、ということ等わかりました。 傾聴する大切さや、指導の方法など、具体的にわかりました。 自傷行為の見られる生徒への対応等、具体的な事例であったために、教員としてどのような対応をとればよいのか学ぶことができました。 愛着障害の生徒に対して、今後どのような声掛けや対応をしていけばよいか、糸口がつかめたような気がしました。
神奈川県	7月1日(月) 15:50～16:50 鎌倉女子学院 中高等学校	教職員	55名	「自殺対策」の中で教師が担う役割	川崎市子ども未来局 児童家庭支援センター 虐待対策担当部長 精神保健福祉センター 担当部長 大塚 俊弘 氏	ねらい通りの効果が認められた	教職員44名(80%)	20代 11名 30代 8名 40代 10名 50代 14名 60代以上 0名 無回答	男性 12名 女性 32名 無回答 0名	学級担任 16名 児童生徒 0名 指導員 0名 学年主任 4名 養護教諭 0名 副校長 0名 校長 0名 教頭 1名 その他 19名 無回答 2名 ※複数回答あり	ある 6名 ない 2回 無回答 3回以上分らない 38名 0名	1回 4名 2回 2名 3回以上分らない 0名 無回答	十分にある 4名 少しある 0名 やや不足 0名 全く不足 0名 無回答	非常に増えた 0名 少し増えた 20名 変わった 24名 変わったなかった 0名 無回答	非常に参考になった やや参考になった 20名 ほとんど参考になった 24名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかった 0名 無回答	とても必要である 22名 やや必要である 21名 ほとんど必要ない 0名 必要ない 0名 全く必要ない 1名 無回答	22名 21名 0名 0名 1名	<ul style="list-style-type: none"> 自殺のみではなく、うつ病やPTSDの正しい知識を教えていただき、これまでの誤った認識を改めることができました。 教師として知っているのと知らないのでは大きく違ってくるということについて知ることができた。 自殺、リストカットの問題は表面に出にくく対応が難しいと感じました。見つけた時にどのくらい落ち着いて対処できるのか考えさせられた。 うつ病、自殺を科学的・医学的に解説してもらえたのが新しい発見で、考え方を根本的に変えさせる講演であった。 「死ぬ気になれば何でもできる」的な考えが、実は若い頃からありました。本人の気持ち(心)にいかにか寄り添うかが重要だと思います。 どう生徒と向き合い、対応すればよいのかがわかった。 自殺を考えている人への言葉がけが参考になりました。正しい知識をもとにかけるべき言葉、そうでない言葉を使い分けたいです。
神奈川県	7月11日(木) 15:50～16:50 藤原市立南陵高等学校	教職員	43名	自殺に傾くサインに気付くために	湘南精神保健福祉センター 所長 長見 智知(精神保健福祉士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員41名(95%)	20代 12名 30代 11名 40代 9名 50代 9名 60代以上 4名 無回答 0名	男性 25名 女性 18名 無回答 0名	学級担任 22名 児童生徒 1名 指導員 1名 学年主任 1名 養護教諭 1名 副校長 1名 校長 1名 教頭 10名 その他 4名 無回答	ある 31名 ない 2回 無回答 3回以上分らない 10名 0名	1回 14名 2回 6名 3回以上分らない 2名 無回答 0名	十分にある 1名 少しある 19名 やや不足 15名 全く不足 3名 無回答	非常に増えた 1名 少し増えた 19名 変わった 15名 変わったなかった 3名 無回答	非常に参考になった やや参考になった 16名 ほとんど参考になった 24名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかった 0名 無回答	とても必要である 22名 やや必要である 17名 ほとんど必要ない 2名 必要ない 0名 全く必要ない 0名 無回答	20名 19名 1名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 100%の解決策は存在しないと思うので、いつ どんな子に出会っても自分の価値観でジャッジせず、学び続けることが大切。 自殺につながるリスクをよく意識する。 うつ病と適応障害の違いが分かった。簡単に 学校さぼって遊んでいたと怒らず、観察しようと思った。 大変参考になりました。死ぬとアピールする人の死ぬ確率が高いことを、初めて知った。 様々な障害を知り、その対処法も知ることができた。また危険因子というものをさいにんきし、身近なものがかんざんあること、急に訪れる可能性があることも理解した。 人の数だけ悩みのケースがあると思う。学校が生徒や教員にとってリラックスして過ごせる場であって欲しいので、新しい情報を知るために、定期的に学ぶ必要がある。 今、相談しに来ている生徒が、どういうタイプで…という事が分かった。〇〇障害かもしれないと当てはまる子が何人かいるので、気をつけたいです。 知識があってもその場で適した行動ができるか不安があります。 自死をほめかす生徒への対応を迫られる状況はどの学校でも起きています。命にかかわる場合で、生徒にどう声をかけるか、問題を抱えた保護者にどのようにお願いするか・先生の自然体で寄り添う姿勢はとても参考になりました。
神奈川県	7月23日(火) 10:00～11:30 海老名市立今泉小学校	教職員	31名	思春期の心	株式会社つるがみねグループ 観ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳こ(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員17名(55%)	20代 7名 30代 4名 40代 2名 50代 9名 60代以上 2名 無回答 0名	男性 3名 女性 14名 無回答 0名	学級担任 13名 児童生徒 0名 指導員 0名 学年主任 3名 養護教諭 1名 副校長 0名 校長 0名 教頭 2名 その他 1名 無回答	ある 6名 ない 11名 無回答 3回以上分らない 0名	1回 3名 2回 2名 3回以上分らない 1名 無回答 0名	十分にある 1名 少しある 9名 やや不足 3名 全く不足 0名 無回答	非常に増えた 1名 少し増えた 7名 変わった 10名 変わったなかった 0名 無回答	非常に参考になった やや参考になった 7名 ほとんど参考になった 10名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかった 0名 無回答	とても必要である 11名 やや必要である 6名 ほとんど必要ない 0名 必要ない 0名 全く必要ない 0名 無回答	14名 2名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 初めて聞いて、よかった。「本当は死にたいのではない。揺れている。」ということが心に強く残り、何かこの段階に気付きたいと思った。教師として、何かできるような研修を重ねたい。 学校での役割や自殺の背景など、発達障害や愛着障害がわかっていることを知りました。とても真剣に考えなければいけないことだと確信しました。 最近のニュースで、京都の放火事件や登戸での事件なども関わりがあるのかな…と感じた。個人の問題としてではなく社会の問題として、社会のしくみや認識から見直す必要があるのでは?と思った。 学校で認められて、子どもの安心して生活できる居場所を作りたいと思います。 自殺の未然防止のための専門的なことを学ぶ機会はずくないので、とても貴重なご講義でした。ありがとうございました。 自分のこれまでの関わり方はどうであったか…振り返る良い機会となったと同時に、より具体的な言葉がけが出来るようになった、大変有意義でした。 教員に課される役割、責任の重さ等を改めて感じた。一方で、ウツになる教員(精神疾患)も多く、自死を選ぶ教員もいる。教員の自死はどのように防ぐか?お決まりの「職場仲間と声をかけあって」では済まされない多忙な現状、更に国からは多くの教育施策が重くのしかかり、教員は限界化も。
神奈川県	7月30日(火) 10:00～12:00 藤原市立南陵高等学校	教職員	32名	家庭生活の問題	株式会社つるがみねグループ 観ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳こ(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員28名(88%)	20代 6名 30代 3名 40代 7名 50代 2名 60代以上 0名 無回答	男性 18名 女性 10名 無回答 0名	学級担任 7名 児童生徒 3名 指導員 1名 学年主任 0名 養護教諭 0名 副校長 0名 校長 0名 教頭 16名 その他 1名 無回答	ある 13名 ない 2回 無回答 3回以上分らない 15名 0名	1回 4名 2回 4名 3回以上分らない 1名 無回答 0名	十分にある 0名 少しある 12名 やや不足 10名 全く不足 6名 無回答	非常に増えた 0名 少し増えた 11名 変わった 16名 変わったなかった 1名 無回答	非常に参考になった やや参考になった 14名 ほとんど参考になった 12名 参考にならなかった 1名 全く参考にならなかった 1名 無回答	とても必要である 14名 やや必要である 13名 ほとんど必要ない 0名 必要ない 0名 全く必要ない 1名 無回答	14名 13名 0名 0名 1名	<ul style="list-style-type: none"> リストカットを学校でも行うようになった生徒へのアプローチや次の担任、学年団への引継ぎ等の不備な点を指摘いただき今後への対応の参考になりました。 発達障害、愛着障害、自殺、自傷行為のメカニズムについて、理解が深まった 声かけを何度も行い、組織で対応する点 具体的な内容が多く、わかりやすかったです。 声かけ、サインを見落とさない、分担して見守る。 まだ勉強不足で、これまで間違った対応を多くしていることを反省しました。今日このような話を聞いて良かったです。研修を聞いていただき、ありがとうございました。 生徒の小さな変化を見逃さない努力とコミュニケーションの工夫をもっと研究しなくてはならないと思った。 ありがとうございました。多くの事例を聞いてよかったです。

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	講座の効果(主催者評価) ※様式2	アンケート結果(様式2、3)															
							回収数(回収率) ※様式3 G1	受講者年代 ※様式3 G2	受講者性別 ※様式3 G3	受講者役割内訳 ※様式3 G4	自殺研修参加の有無 ※様式3 G5	自殺研修参加の回数 ※様式3 G6	自殺に関する知識 ※様式3 G7	研修受講後の知識の向上 ※様式3 G8	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3 G9	今後についての学習意識 ※様式3 G10						
神奈川県	8月5日(月) 14:00~16:00 清川村教育委員会	教職員(愛川町・清川村小)	51名	自殺対策の学校ができること	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	14名8名 6名 13名 3名 1名	男性 女性 無回答	15名 3名 6名 2名 2名 13名 1名	17名 1名 4名 3名 6名 2名 2名 13名 1名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	8名 3名 3名 18名 11名 1名	十分にあり 少く 少く不足 全く不足 無回答	0名 15名 26名 0名 0名	非常に増えた 少く 増えた 変わった 無回答	非常に参考になった やや参考に した ほとんど 参考にならなかつ た 全く参考 にならなかつ た 無回答	28名 14名 0名 0名 3名	とても必要 である やや必要 である ほとんど 必要ない 無回答	32名 10名 0名 0名 3名	<ul style="list-style-type: none"> “声をかける”ことの大切さを改めて感じました。チームで対応することで子どもを守る質が高まるのであれば、率先して取り組む必要である。 今、特別支援学級の担任をしていますが、「発達障害の子が大人になって自殺が多い」という現状を聞き、世の中で生きづらさを抱えて、これから生きていくの子たちが、困った時に頼れる誰かや支援できる施設が存在しそれを見つけていけたらと思います。そしてこの子自身大人になって、周りに助けを求める「レジリエンス」の力をしっかりとつけられるように今から私達もきちんとこの子達と向き合っていきたいと思えます。 実際に今後いつ起こりうるかわからない事であり、子どもたちの関わりや、周りの先生、保護者とも連携していきたいと思う。具体的に対処法とかも教えていただけましたが、それぞれの子に対して臨機応変にやっていきたい。自分の直感で危ないと思ったときはしっかりと声をかけていきたい。 傾聴することの大切さを知りながらも、具体的な場面にいざ出た時、想像しにくい部分があったので、「共感するポイント」や、実例を沢山聞くことが出来、大変勉強になりました。 自殺願望のある子は、本当には死なないと思っていた。必ず何らかのサインが事前に発せられているとは思っていませんでした。 自傷行為や自殺を防止するため、そして日頃から子どもとのコミュニケーションをしていく中で、教員としてのアンテナを高くしていく必要があるんだと改めて知ることができた。
神奈川県	8月19日(月) 10:00~11:30 大和市立相川小学校	教職員	35名	自殺のために個人ができること・家庭内生活(虐待)について	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	15名6名 1名 2名 0名	男性 女性 無回答	10名 14名 0名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	4名 1名 9名 7名 2名 0名	十分にあり 少く 少く不足 全く不足 無回答	0名 8名 15名 9名 0名	非常に増えた 少く 増えた 変わった 無回答	非常に参考になった やや参考に した ほとんど 参考にならなかつ た 全く参考 にならなかつ た 無回答	15名 4名 1名 0名 4名	とても必要 である やや必要 である ほとんど 必要ない 無回答	18名 2名 0名 0名 4名	<ul style="list-style-type: none"> 児童を指導する上で、家庭環境を知ることがとても大切であることを痛感した。愛情をもって児童と関わろうと思った。また、一回かかわったらずっと関わりを持つことが大切だと分かった。 自殺のニュース(中学生が多い気が)をよく見るので、自殺予防のために自分が少しでも役に立てるようにしていきたい。マニュアルがないことなので、事例をたくさん知り、予防のためにできることを考えたいと思った。 自殺の背景には虐待や愛情障害がたくさんあることがわかった。たくさん事例を話をしてくださったのがとても参考になった。 日々、子供と接する中で変化に気づくことや声をかけていくことが大切だと感じました。 子どもへの声かけやタイミングなど具体的にできるようになりたいです。NGワードをたくさん言っていたように感じました。反省し改めていきます。すぐ参考になりました。 自殺する人は減ってきてはいるが、それでもまだまだ自殺者はたくさんいると思いました。保護者の声かけに配慮しながら、子どもたちの成長過程に携わっていきたくと思いました。 	
神奈川県	8月20日(火) 9:30~11:00 厚木市立相川中学校	教職員	13名	思春期の心・家庭内生活(虐待)について	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	1名 4名 5名 0名 0名	男性 女性 無回答	10名 3名 0名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	2名 2名 10名 2名 1名 0名	十分にあり 少く 少く不足 全く不足 無回答	0名 10名 6名 0名 0名	非常に増えた 少く 増えた 変わった 無回答	非常に参考になった やや参考に した ほとんど 参考にならなかつ た 全く参考 にならなかつ た 無回答	9名 4名 0名 0名 0名	とても必要 である やや必要 である ほとんど 必要ない 無回答	11名 1名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 身近に心配な生徒がいるのでとても参考になりました。 まずは本人、保護者を丁寧に気にかけて、声をかけていくことの重要性。 死にたいと明確な意思を持って自殺する人は少数。多くはゆれ動く中でそこま至っているということ。 寄りそうことが大切という言葉が印象に残りました。 どうしても変化を求めてしまうが、中学校でやることがその生徒の今後役に立つこと。 現在、リストカットをしている生徒がいるので、その対応の仕方として参考になった。 家庭環境や発達障害の面から自殺にふれて頂き、今後の指導や生徒の対応に生かしていきたい。 	
神奈川県	8月21日(水) 15:30~17:00 二宮西中学校	教職員	13名	心の病気の基礎知識～パーソナリティ障害とその対応について～	公立大学法人横浜市立大学附属病院 法医学部 精神科 助教 金澤さやか氏	ねらい通りの効果が認められた	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	3名 4名 2名 3名 0名	男性 女性 無回答	5名 4名 2名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	2名 2名 11名 1名 0名	十分にあり 少く 少く不足 全く不足 無回答	0名 2名 4名 1名 1名	非常に増えた 少く 増えた 変わった 無回答	非常に参考になった やや参考に した ほとんど 参考にならなかつ た 全く参考 にならなかつ た 無回答	6名 3名 0名 0名 0名	とても必要 である やや必要 である ほとんど 必要ない 無回答	6名 3名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にこのような機会を設けないと、常にアンテナを立てておくことに関して油断してしまうかもしれないから。 気づき、声かけ、見守りの必要性を強く感じました。今後も知識を増やしていきたいと思えます。 学担という子どもにも最も近い教育として、子どもの細かな変化に気をつけたいと思った。 病態水準という考えがあることを知れた。相手の状態をレベルで見るといって見ることが参考になりました。やっぱり複数で対応することが大切ということを再認識できた。 塾スポーツ、友人関係、家庭など多くを抱えている子供達の為の研修が、今日のようにまたあって欲しいと思いました。 治療している側が 心を病まないようにする。というのは大切な視点だとおもいました。 	
神奈川県	8月22日(木) 9:00~10:40 湯河原町立吉浜小学校	教職員	22名	子どもの心の病気と自傷行為	公立大学法人横浜市立大学附属病院 法医学部 精神科 助教 藤田純一(児童精神科医師)	ねらい通りの効果が認められた	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	5名 8名 3名 5名 0名	男性 女性 無回答	8名 13名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	3名 2名 11名 1名 0名	十分にあり 少く 少く不足 全く不足 無回答	0名 6名 11名 3名 1名	非常に増えた 少く 増えた 変わった 無回答	非常に参考になった やや参考に した ほとんど 参考にならなかつ た 全く参考 にならなかつ た 無回答	18名 3名 0名 0名 0名	とても必要 である やや必要 である ほとんど 必要ない 無回答	20名 1名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 自傷行為は、特別なことではなく、身近に起きることだと感じた。やってしまった子をせめないように気をつけたい。 学校でできる心の健康対策の1つとして、メンタルヘルスの話題をとり上げること。メンタルヘルス…という難しい感じもしますが「心が元気がないってどんなこと?」「学校に行きつらくなってどんなとき?」など小学生にも伝わりやすい内容があることが分かり、よかったです。 普段なかなかお話をうかがう機会のない医師の方のお話は大変勉強になりました。ありがとうございました。 具体的な事例で考えることができた。実際起こること、きつとパニックになると思うが、少し軽減できると思う。 学校とは違う視点からのお話があり、とても参考になりました。これからも、学校はさまざまな視点から学んでいく必要があると思えます。 学んでいく必要があると思えます。どうしても自傷行為をせずに「死んでしまうのではないかと不安になります。不安な気持ちは消えませんが、何か意味があったことだと思えて、寄り添ってほしいと思えました。 もし、子どもが「死にたい」と言ってきたら、自分はずっと行動できなかったと思う。子どもに寄り添ってほしいと思う。 その行為をやめさせたい時に、「対立」となってしまうのは決まっていけないこと。 児童からのS.O.Sを受け取ったとき、共感するだけでなく、「力になれるかもしれないから、よかつたら話してね」と伝えることの大切さを実感しました。 	

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)																
						講座の効果(主催者評価) ※様式2	回収数(回収率)	受講者年代 ※様式3_01	受講者性別 ※様式3_02	受講者役割内訳 ※様式3_03	自殺研修参加の有無 ※様式3_04	自殺研修参加回数 ※様式3_05	自殺に関する知識 ※様式3_06	研修受講後の知識の向上 ※様式3_07	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3_08	今後についての学習意識 ※様式3_09	研修に関する御意見・感想(抜粋) ※様式3_010					
神奈川県	8月22日(木) 9:00~11:00 南足柄市立岡本中学校	教職員	22名	自殺対策の現状と対策を知ること、今後の対策や予防について考える	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 15名 (68%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	7名 2名 3名 3名 0名 0名	男性 女性 無回答	9名 6名 0名 0名 0名 1名	ある ない 無回答	5名 10名 0名 0名 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	4名 0名 0名 0名 1名	十分にある 少がある やや不足 全く不足 無回答	0名 5名 3名 7名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 増えなかった 無回答	非常に参考になった やや参考に なった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった 無回答	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 無回答	14名 1名 0名 0名 1名	<ul style="list-style-type: none"> 知らないことで自殺を止められなかったでは済まされないと思いました。小さなことでも因子であることを忘れずに子どもと接していきたいと思います。 とにかく子ども声をかけることでノーマークの生徒が出ないようにすること。 「希死念慮」という言葉自体を初めに聞き、自殺予防についたくさんのことを学ぶことができました。 今日の話を聞いて、まだまだ学ばなければいけないことがたくさんあると改めて感じました。引き続き、自分でも、勉強していきます。生徒のために。 生徒への接し方や、組織としてチームでとりくむことの重要性。 してはいけない声かけ、行動等に注意していきたい。 チームでしっかりと対応していきたいと思いました。小さなサインを見逃さないようがんばります。 自分だけで悩まずまわりの先生方や専門機関に早めに相談していきたいと思います。 事務職ですが知っておくのと知らないのでは全然違うと思いました。学校職員として協力・助け合いをしないといけないと思いました。言ってはいけないことをうかつに言わないように学べたというのも大切だと思いました。 生徒たちを憂える、話を聞くを意識していましたが、より重要性を感じ、さいなごとのつながりを大切にしていきたいと思いました。
神奈川県	8月22日(木) 14:30~16:30 厚木市立戸田小学校	教職員	13名	思春期の心死にたいと言ふ自傷行為等の問題がある児童への対応について	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 13名 (100%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	4名 4名 1名 2名 2名 0名	男性 女性 無回答	3名 10名 0名 0名 0名 1名	ある ない 無回答	4名 2回 9名 3回以上 分からない 無回答	1名 2名 0名 0名 0名	十分にある 少がある やや不足 全く不足 無回答	0名 8名 2名 2名 0名	非常に増えた やや参考に なった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった 無回答	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 無回答	11名 1名 0名 0名 2名	<ul style="list-style-type: none"> 自殺についての要因、言葉かけ、より活い方、具体的な事例を挙げて分かりやすくお話しいただき、大変参考になりました。 子どもたちの悩みを少しでも和らげられるよう、声かけできたらと思いました。 夏休み明けの不安定な児童の実態を前日 本日の研修はとてもタイムリーであり、とても参考になりました。 若者の死因1位が自殺であるということをはじめて知った。言わねが、自死遺族が身近にいるかもしれないということ。 事例をまよえながらの内容で大変勉強になりました。ありがとうございました。「継続可能な支援」を言葉にがんばります。 どれも参考になりましたが、特に発達障害と自殺とのつながりが興味深かったです。 声のかけ方、とても勉強になりました。 ノーマークの子を 作らないようにしよう、と改めて思いました。 		
神奈川県	8月23日(金) 10:00~11:00 伊勢原市立比佐多小学校	教職員	25名	死にたいと言ふ児童の問題のある児童の関わり方	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 23名 (92%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	2名 7名 7名 7名 0名 0名	男性 女性 無回答	11名 12名 0名 0名 0名 2名	ある ない 無回答	6名 2回 17名 3回以上 分からない 無回答	4名 1名 0名 0名 1名	十分にある 少がある やや不足 全く不足 無回答	0名 6名 12名 5名 0名	非常に増えた やや参考に なった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった 無回答	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 無回答	20名 3名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 学校の中でも様々な課題を抱えている児童がたくさんいるので、寄り添える指導が必要、そのためには、様々な視点もてるよう教職員が研修していくことも必要と考えます。 自殺が起こるサイン等しっかり覚えておこうと思いました。 教員として、担任としての声かけや行動の重要性を再認識しました。 実際の声かけの言葉など具体的に教えて頂いてよかったです。自分達が今している事が子ども達が30才になった頃花開く(役立つ)と話されていたのを聞いて声かけを毎日がんばっていると思いました。 こまめな声かけ、名前を呼ぶ=ほめる=「ありがとう」がとても大切だということ。親に共感しねがらぬ他機関につなげる。 今日教えて頂いた視点をもって 子どもや保護者に関わってきたい。 子どもが出すサインについて、詳しく子どもの心理を突いてお話しいただきましたので、何ができるのかを知る事ができた。 困っている子どもたちへの具体的な声かけをたくさん知ることができた。自分の役割を理解して、子どもに働きかけ続けることが大切なのだと感じた。ありがとうございました！ 「死にたい」と言う(思っている)子どもへの対応、やってはいけないことが、ある程度、明確になってきたように思う。(アンテナが少し高くなった気がする) 		
神奈川県	8月23日(金) 14:30~16:00 海老名市立今泉中学校	教職員	27名	家庭生活の問題のある生徒の関わり方について	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィチャルト 千佳子(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 20名 (74%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	5名 3名 3名 1名 0名 0名	男性 女性 無回答	14名 8名 0名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	10名 10名 0名 0名 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	0名 4名 3名 0名 0名	十分にある 少がある やや不足 全く不足 無回答	0名 5名 11名 4名 0名	非常に増えた やや参考に なった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった 無回答	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 無回答	16名 4名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害や愛着障害の人の特徴や関わり方について分かり、とても良かった。 すぐわかりやすく興味深かった。「気持ちに寄り添う」を大切にしようと思った。 個人の持っている資質という点について大きく左右するところから始まり、対応の仕方が具体的にあり、多くのヒントを得ることができた。 「死にたい」と言う生徒が実際にいたのでどう返答していいの不安なところがありました。ありがとうございました。 普段から意識していないといけないと新たに感じました。 自殺予防についても、そうした可能性の高いと予想されるお子さんへの対応、特徴etcを具体的に分かりやすい言葉でお話をいただいた。過去、たいへん多くの方のお話を聞いた経験があるが今日の先生のお話が一番、具体的なもので参考になりました。 声かけの内容を具体的にお話していただき、ありがたかった。 日頃からの声かけやチェックがとても大切だということを再認識した。 発達の備いがある生徒のフォローの仕方が参考になりました。 	
神奈川県	9月28日(水) 9:30~11:00 平塚市大野中学校	教職員	35名	「逆境的環境と自傷行為」自殺対策に関する基礎知識について	公立大学法人 横浜市立東区 病院 純一(児童精神科医師)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 29名 (83%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	6名 10名 4名 5名 3名 1名	男性 女性 無回答	14名 15名 0名 0名 0名 0名	ある ない 無回答	10名 18名 1名 0名 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	1名 1名 5名 5名 0名	十分にある 少がある やや不足 全く不足 無回答	0名 7名 15名 4名 0名	非常に増えた やや参考に なった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった 無回答	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 無回答	17名 12名 0名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 説諭より、寄り添う気持ちが大切なこと 私は説諭が大切だと思っていたので… 自傷行為が起きてしまったときの考えられる対応策や、自傷行為に至る感情について知ることができて良かった。今後の指導に活かしたいです。 事例を出して頂いたのが具体的な対応や やってはいけない対応について知れました。 事例の兆候が見られる子どもに対しては、何気ないあいさつや他愛もないやり取りを通して、「あなたを見てよ」というサインを送ることが大切だと知りました。 自己治療行為としての自傷行為もあるということ。 自傷の理由はアビエのみではないということ。自傷=イライラを抑えるという感情は理解できない。 子どもたちのSOSを、見逃している危険性に、危機感を持ちました。日頃から、傾聴し、少しでも安心感を与えてあげられる存在になりたいと思いました。 本来の職務に加えて、さらにいろいろな面で教員が注意を払ひながら、子どもと接していかなければならないと感じさせられ、教員としての仕事の内容が必要で幅広くなってく一方だと思いました。 自殺、自傷行為、自分には関係ない一と思ってましたが、もしかしたら自分も陥る可能性がある、みんなそのような危険性があるな一と思えました。大人同士も相談しやすい環境づくりが大切かも…。 「メンタルヘルスを授業で取り上げる」という考えは新鮮でした。今までは、あまりオープンにせず扱っていたと思う。また、職員に対してもメンタルヘルスに対してオープンに紹介、話題にできる雰囲気づくりも必要と感じました。 	

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)												
						講座の効果(主催者評価) ※様式2	回収数(回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する知識 ※様式3 Q6	研修受講後の知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想(抜粋) ※様式3 Q10	
神奈川県	8月29日(木) 14:45～15:45 県立横浜ひなたやま支援学校	教職員	48名	リストカットについて	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィジュアル・干佳こ(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員45名(94%)	20代 6名 30代 11名 40代 9名 50代 17名 60代以上 2名 無回答 0名	男性 18名 女性 27名 無回答 0名	学級担任 21名 児童生徒指導担当 3名 教育相談 2名 学年主任 2名 養護教諭 1名 副校長 1名 教頭 1名 その他 1名 無回答 1名	ある 10名 ない 2回 無回答 3回以上分らない	1回 6名 2回 1名 3回以上分らない 2名 無回答 0名	十分にあり 13名 少しある 20名 やや不足 10名 全く不足 2名 無回答 0名	非常に増えた 0名 少し増えた 13名 変わった 20名 変わった 10名 無回答 2名	非常に参考になった やや参考に なった 30名 ほとんど 参考にならなかつ た 15名 参考にならなかつ た 0名 無回答 0名	とても必要である やや必要である 36名 ほとんど必要はない 7名 全く必要ない 0名 無回答 2名	感情の明細化や気持ちを言語化することができると良いということが分かった。自傷行為を見つけた場合の対応も具体的に分かってよかった。自尊感情を高めるためにできること(声をかける、名前を呼ぶ、ほめるなど)を取り組んでいきたいと思った。 ・リストカットは自殺しないための行為であり、ただダメを止めるだけでは何の意味もない。逆に良い方向に進むこともあること。自分の経験では気持ち代弁し共感してあげる大切さは、(自閉症の子どもたちにも有効だったが)リストカットをする子どもたちにも当てはまるということ。怒りの手前の弱い感情を表に出すことが大切。 ・「疑惑」のポイントがはっきりと示して頂いたので、日々自分声かけに対する「これでいいのかな」という疑問が少し解消されてよかった。 ・自傷行為を見つけたときに、子どもたちの悩みをしっかりと聞いていくことがとても重要であるということに気づけました。小さなことでも必ず声かけをしていく大切さを改めて感じました。 ・リストカットについて、いろいろ教えていただきとても勉強になりました。思春期の難しい生徒と関わることこの難しさを日々感じています。先生のお話をきいて 生徒に寄り添っていきたくという気持ちが湧いてきました。 ・生徒の小さな変化を見逃さず、どんな小さなことでも声をかけ続けられる教員でありたいと感じました。ありがとうございました。	
神奈川県	11月18日(月) 15:20～16:50 豪川町立中津小学校	教職員 PTA、地域の民生委員等	43名	自殺対策のために個人が〜 学校・家庭で共に考える〜	湘南精神保健福祉士事務所 所長 長見英知(精神保健福祉士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員等 38名(84%)	20代 10名 30代 7名 40代 8名 50代 4名 60代以上 7名 無回答 0名	男性 15名 女性 21名 無回答 0名	学級担任 15名 児童生徒指導担当 1名 学年主任 2名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 18名 その他 0名 ※複数回答あり	ある 22名 ない 2回 無回答 14回以上分らない	1回 15名 2回 5名 3回以上分らない 2名 無回答 0名	十分にあり 11名 少しある 15名 やや不足 9名 全く不足 1名 無回答 0名	非常に増えた 0名 少し増えた 11名 変わった 19名 変わった 16名 変わった 1名 無回答 0名	非常に参考になった やや参考に なった 24名 ほとんど 参考にならなかつ た 16名 参考にならなかつ た 0名 無回答 1名	とても必要である やや必要である 24名 ほとんど必要はない 11名 全く必要ない 0名 無回答 2名	声かけの大切さがよくわかりました。「大丈夫」「どうしたの」と声をかけていきます。 ・「死にたい」という言葉を、もっと真剣に受け止めるべきだと学んだ。 ・どうにかしようとか考える事なく、「どうしたの?」など少し気軽に話しかけてあげただけで良いと聞き、私も力になれそう。と思えました。 ・本日はありがとうございました。何を意識したらいいかのポイントを教えていただけ、これからは役立てていきたい。 ・身近に相談できる場所があること 私たちが自殺予防のチカラになれることを知った ・同感と共感、ちがうということ、同感ではなく、共感するのが大切だということ。 ・長見先生の働きあふれるお話は、どれも自分にもできるかもと、勇気づけられるものばかりでした。教員として、子どもや保護者の方とかかわる上で大切なことを沢山学ばせていただきました。ありがとうございました。 ・児童に対してだけでなく私たち教員・大人にも危険を察しなければならぬと思いました。話の聞き方、声のかけ方 すごく勉強になりました。	
神奈川県	2月13日(木) 14:30～16:00 海老名市教育委員会	教職員	19名	家庭に問題がある子どもと保護者への対応について	株式会社つるがみグループ 鶴ヶ峰心理グループ 代表取締役 ヴィジュアル・干佳こ(臨床心理士)	ねらい通りの効果が認められた	教職員 13名(68%)	20代 0名 30代 0名 40代 3名 50代 5名 60代以上 0名 無回答 0名	男性 2名 女性 11名 無回答 0名	学級担任 6名 児童生徒指導担当 10名 教育相談 0名 学年主任 0名 養護教諭 1名 校長 0名 副校長 0名 教頭 0名 その他 0名 ※複数回答あり	ある 8名 ない 2回 無回答 3回以上分らない	1回 4名 2回 7名 3回以上分らない 4名 無回答 0名	十分にあり 0名 少しある 7名 やや不足 4名 全く不足 0名 無回答 0名	非常に増えた 0名 少し増えた 7名 変わった 5名 変わった 1名 無回答 0名	非常に参考になった やや参考に なった 10名 ほとんど 参考にならなかつ た 7名 参考にならなかつ た 0名 無回答 1名	とても必要である やや必要である 10名 ほとんど必要はない 2名 全く必要ない 0名 無回答 0名	知識があるのと、ないのでは、子どもの見え方が違うと思った。大切なことを学ぶことができた。ありがとうございました。 ・短い時間の中に、多くの大事な情報があり、勉強になりました。ありがとうございました。 ・声かけが非常に重要なこと。また、継続しないといけないこと。 ・「命を大切に!」などの熱い声かけはいいとのこと。 ・大変勉強になりました。特に、声かけや対応の具体的な良い悪いの例がよくわかりました。	
神奈川県	2月14日(金) 15:45～16:45 横浜東区大津小学校	教職員	19名	相談技術「初級1級」ということ	精神保健福祉センター 相談課 課長 由美	ねらい通りの効果が認められた	教職員 19名(100%)	20代 3名 30代 5名 40代 7名 50代 3名 60代以上 1名 無回答 0名	男性 6名 女性 13名 無回答 0名	学級担任 14名 児童生徒指導担当 0名 教育相談 0名 学年主任 0名 養護教諭 13名 校長 0名 副校長 0名 教頭 1名 その他 3名 無回答 0名	ある 3名 ない 16回 無回答 2回以上分らない	1回 2名 2回 1名 3回以上分らない 0名 無回答 0名	十分にあり 0名 少しある 5名 やや不足 7名 全く不足 6名 無回答 1名	非常に増えた 0名 少し増えた 9名 変わった 10名 変わった 0名 無回答 0名	非常に参考になった やや参考に なった 10名 ほとんど 参考にならなかつ た 9名 参考にならなかつ た 0名 無回答 0名	とても必要である やや必要である 10名 ほとんど必要はない 9名 全く必要ない 0名 無回答 0名	傾聴の大切さ。何かいつもとちがう雰囲気を感じたら気にかける。 ・もし、子どもが「もうやりたくない」など気持ちが落ちていたら、声をかけ、傾聴をしたい。正論や、はげまし、自分の昔話(体験談)などは語らない。 ・どうすれば自殺したくなるのか…その手立てなどが詳しく知りた。傾聴をして、周りの人に相談して、その人のことを気にかけて…など、やはりずっと声を掛けていく(気にかけていく)しかないのかな?と感いました。 ・ロールプレイを行うことで、より自分的に考えることができました。これ(ロールプレイ)が凄く効果的でした。また、してはいけないこと、した方がよいこと(TALKなど)がきけて、とても良かったです。お忙しい中、ありがとうございました。 ・他人事ではなく、常に自分事として向き合うことの大切さを実感しました。 ・自分の聞き方のくせを自覚し、今後、気をつけていけるのでは?と感じた。 ・話の聞き方で、話し手の気持ちがかわることを感じました。 ・いろいろ、自殺予防についてのお話を聞けて、初めて知ること多かったので良かったです。 ・今までの自分の常識で行動していたのが、もう少し考えて、言動を発するようになりました。 ・ロールプレイなど、知らないことを聞くことができ、とても勉強になりました。子どもの話の聞き方など活かしていきたいと思いました。	

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)															
						講座の効果(主催者評価) ※様式2	回収数(回収率)	受講者年代 ※様式3 01	受講者性別 ※様式3 02	受講者役割内訳 ※様式3 03	自殺研修参加の有無 ※様式3 04	自殺研修参加の回数 ※様式3 05	自殺に関する知識 ※様式3 06	研修受講後の知識の向上 ※様式3 07	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3 08	今後についての学習意識 ※様式3 09	研修に関する御意見・感想(抜粋) ※様式3 010				
横浜市	11月19日(火) 14:50～16:40 横浜国立大学横浜商学高等学校内	神奈川県学校・警察連絡協議会横浜第二方面会議 (横浜市教育委員会)	720名	若者の生きづらさと自衛行為	神奈川県立医療センター 小林椋児氏	ねらい通りの効果が認められた	321枚 (44.5%)	20代 30名 30代 40名 40代 129名 50代 90名 60代以上 18名	9名 73名 男性 189名 女性 130名	学級担任 15名 児童生徒 218名 指導担当 4名 教育相談担当 4名 学年主任 2名 養護教諭 14名 校長 3名 副校長 1名 教頭 17名 その他	162名 155名	1回 2回 3回以上 分からない	50名 52名 49名 20名	十分にある 少しある やや不足 全く不足	1名 123名 127名 67名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 減った	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	260名 47名 0名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	245名 61名 1名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 今日の話を全職員が開けたらいいのにと感じました。 自殺サイト等小学生でも見ている様子があり、身近な行為となってきている。が、全職員がそれに対する知識がないなどのように受け止めていくのが、戸惑うと思う。 自殺予防に限らず普段の児童生徒の中でも同じことが言えると思いました。待つ中で関係を築くことで社会の中で誰かを頼って行ける気持ち育てていきたいと思いました。 自殺で亡くなっている人数がかなり多い現実に驚きました。自分が学校現場で何が出来るか、何をすべきか考える良い機会になりました。 自殺企画のある子どもを目の前にとあわせてしまい、自傷行為を止めようとすると思っていたが、今の話を聞いて気持ちに寄り添い共感できるようにしたいと思いました。
横浜市	11月22日(金) 8:20～11:15 横浜花映ビル3階研修室	横浜花映ビル3階研修室 (横浜市教育委員会) ※参加者:スクールカウンセラー等	270名	若者の生きづらさと自衛行為	神奈川県立医療センター 小林椋児氏	ねらい通りの効果が認められた	122枚 (45.2%)	20代 1名 30代 16名 40代 31名 50代 35名 60代以上 39名	1名 16名 女性 30名 男性 92名	学級担任 13名 児童生徒 109名 指導担当 1名 教育相談担当 1名 学年主任 1名 養護教諭 1名 校長 1名 副校長 1名 教頭 1名 その他	111名 11名	1回 2回 3回以上 分からない	12名 22名 67名 10名	十分にある 少しある やや不足 全く不足	14名 81名 17名 7名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 減った	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	98名 9名 0名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	93名 16名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> とてもわかりやすく、具体的かつ日々の臨床で役立つ内容で大変ありがたかった。 教員の方にも是非知っておいいただきたい内容だと思いました。 ざっばらんな話の中に熱い人となりや覚悟が感じられ、自分も気持ちを新たに向き合っていくことと思いました。自死の話題は衝撃的でしたが時間をかけて根気よく向き合うことが大切だと感じました。 自傷行為の背景やメカニズム、支援にあたっての大切な視点を学ぶことができ、有意義でした。 最近自傷行為のある児童生徒に対応する機会が増えています。お話を伺い、気持ちの余裕をもって子どもたちに対応することができる気がします。
横浜市	12月29日(金) 14:00～16:00 横浜国立大学柏尾小学校	横浜市立柏尾小学校 教職員	30人	子どもの自殺予防	つるがみねグループ ヴィレハルト千佳こ氏	ねらい通りの効果が認められた	17枚 (57%)	20代 2名 30代 3名 40代 6名 50代 4名 60代以上 2名	2名 3名 女性 4名 男性 13名	学級担任 10名 児童生徒 1名 指導担当 1名 教育相談担当 1名 学年主任 1名 養護教諭 1名 校長 1名 副校長 1名 教頭 1名 その他	1回 2回 3回以上 分からない	0名 1名 0名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足	0名 6名 10名 5名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 減った	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	11名 3名 0名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	4名 3名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 小学生時代に計り知れない悩みがあり、相談できない状況になんともやりきれない気持ちになった。さらに、親のカウンセラーの充実を計ることが大切と思うが、体制が整わない歯がゆさを感じた。 リスタートする児童への対応など、具体的なことを教えていただき勉強になりました。 	
川崎市	6月1日(木) 9:40～10:25 川崎市立南河原中学校	川崎市立南河原中学校 教職員生徒	教職員13名 生徒307名	薬物乱用防止教室	川崎市子ども未来局 児童家庭支援センター 待対策室 大塚 俊弘 医師	強い通りの効果が認められた	教職員13名 (100%)	20代 3名 30代 5名 40代 3名 50代 2名 60代 0名 無回答 0名	3名 5名 女性 6名 男性 7名 無回答 0名	学級担任 8名 児童生徒 1名 指導担当 0名 教育相談担当 2名 学年主任 3名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 2名 教頭 0名 その他 0名	2名 11名 0名	1回 2回 3回以上 わからない 無回答	0名 0名 2名 0名	十分ある 少しある やや不足 全く不足	0名 0名 4名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 減った	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	0名 9名 2名 1名 1名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	5名 7名 1名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 自傷行為の事例が困ったことに生徒が興味本位でためしてしまいました。内容が少し過激な感じがしてしまっった。 ありがとうございました。プリントだけでなく、視覚で訴えるような教科書等があると、子どもにも印象が深くなるのではないかと思います。 ”自殺”ということばに抵抗がある子どもは多いし、自分は関係ないと思うでしょう。何か別のことばを使う方がいいと思いますが、どうですか。 これから暑くなり熱中症に気を付けなければならない場面が増えてくる中で、子どもたちのためにも、我々教員のためにもなった講演でした。
川崎市	6月26日(水) 17:45～19:00 川崎市立川崎高等学校 定時制	川崎市立川崎高等学校 定時制 教職員生徒	教職員5名 生徒92名	薬物乱用防止教室	特定非営利活動法人 川崎ダルク支援会 川崎ダルク施設長 岡崎 重人	強い通りの効果が認められた	教職員4名 (80%)	20代 1名 30代 2名 40代 0名 50代 1名 60代 0名 無回答 0名	1名 2名 女性 2名 男性 2名 無回答 0名	学級担任 3名 児童生徒 0名 指導担当 0名 教育相談担当 0名 学年主任 2名 養護教諭 2名 校長 0名 副校長 0名 教頭 1名 その他 0名	0名 2回 3回以上 わからない 無回答	0名 0名 0名 0名	十分ある 少しある やや不足 全く不足	0名 0名 2名 2名	非常に増えた 少し増えた 変わらない 減った	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	0名 0名 1名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	2名 2名 0名 0名	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向けの研修があれば、是非参加したいと思います。 	

令和元年度 自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者(依頼元)	受講人数(実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)										
						講座の効果(主催者評価) ※様式2	回収数(回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する知識 ※様式3 Q6	研修受講後の知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果(研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての学習意識 ※様式3 Q9
川崎市	12月24日(火) 12:00~13:30 川崎市立川崎高等学校定時制	教職員	教職員 33名	LGBT(性的マイノリティ)職員研修	認定特定非営利活動法人 RISE により講師2名	20代 8名 30代 4名 40代 3名 50代 7名 60代 0名 無回答 1名	男性 16名 女性 7名 無回答 0名	学級担任 13名 児童生徒指導担当 3名 教育相談担当 0名 学年主任 2名 養護教諭 1名 校長 1名 副校長 0名 教頭 3名 その他 2名	ある 6名 ない 17名 無回答 0名	1回 1名 2回 2名 3回以上 1名 わからない 1名 無回答 0名	十分ある 1名 少しある 1名 やや不足 1名 全く不足 0名 無回答 0名	非常に増えた 0名 少し増えた 7名 変わった 1名 変わった 1名 無回答 2名	1名 19名 1名 2名	アンケート裏面の記載がなく集計できず		
川崎市	7月17日(水) 8:45~11:35 川崎市立はるひ野中学校	生徒	生徒412名	心の健康講座	山梨大学 准教授・臨床心理士 川本 静香 先生											
川崎市	10月9日(水) 10:00~11:00 川崎市立川崎総合科学高等学校	高校3年生	生徒230名	薬物の危険性を体験から学ぼう	川崎ダルク 生活支援員											
相模原市	令和元年12月4日(水) 15:16時30分 市立旭中学校	市立旭中学校保健委員会	50名	自分を、仲間を大事に生きる	北里大学 医学部 精神科学 井上勝夫氏			【講演内容のわかりやすさ】 わかりやすい 36名 どちらでもない 0名 むずかしい 1名			【講演内容は今後役に立ちそうか】 役立ちそう 37名 どちらでもない 0名 むずかしい 0名					今後、私たちが過ごすために必要である精神についての話、私はストレスの上手な取り扱い方、意識していきたい。 お話を聞いて、これから、自分や仲間を大切にしていこうと思いました。いろんな事が学べて今後に生かせそうです。 「大事にする」ということがどういふことなのかな知ることができて良かった。 自分と仲間を大事にしようと思いました。
相模原市	令和2年1月14日(火) 10時30分~12時00分 市立麻溝小学校	市立麻溝小学校保護者	34名	子どもの自死	精神保健福祉センター職員 北里大学 医学部 精神科学 井上勝夫氏	20代 0名 30代 0名 40代 21名 50代 7名 60代 3名 無回答 0名	男性 29名 女性 0名	学級担任 0名 生徒指導担当 0名 教育相談担当 0名 学年主任 0名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 0名 その他 26名 無回答 5名	ある 2名 ない 29名 無回答 0名	1回 2名 2回 29名 4回以上 0名 わからない 0名 無回答 0名	十分ある 1名 少しある 0名 やや不足 1名 全く不足 0名 無回答 0名	非常に増えた 14名 やや参考になった 11名 ほとんど参考にならない 0名 全く参考にならない 0名 無回答 0名	20名 11名 0名 0名 0名	とても必要である 18名 やや必要である 12名 ほとんど必要ない 0名 全く必要ない 0名 無回答 1名	いじめにつながるプロセスが細かくわかりました。死を美しいもの・永遠へとつながるものとして考えている思春期の頃の友人を思い出しました。 親として、子どもとの対話の姿勢がどうあるべきか聞くことができ、とてもありがたかったです。 TALKの原則、何事にも覚えておこうと思います。 いじめる側の心理。いじめる側になっている子の親の対応等ききたいです。	